

地域生活交通に係る調査特別委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和8年5月8日（金） 第2委員会室
2. 出席委員 谷口隆明委員長 前田智永副委員長 松本みのり 堀井慎一郎 桜田亮太 堀内富夫
桂藤和夫議長
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 近藤淳議会事務局長 横山和昭議会事務局議事調査係長 橋本和憲議会事務局主任主事
5. 説明員 なし
6. 委員外議員 福山権二副議長
7. 傍 聴 者 4名（うち議員 近藤久子 吉川遂也 岡野茂 青山学）
8. 会議に付した事件

1 付託事項の審査について

午前11時1分 開 議

○谷口隆明委員長 ただいまより第4回地域生活交通に係る調査特別委員会を開催いたします。本日の委員会において、傍聴、写真撮影、録画等を許可しています。

1 付託事項の審査について

○谷口隆明委員長 本日の特別委員会では、具体的に地域交通に関する調査を行うために、たたき台を提案したいと思います。自治振興区にどのようなことを聞いていくのか、あるいは地域ケア会議等で生活に困っている方の生活交通をどのようにするかなどについて、担当課ともいろいろ相談した結果を副委員長にまとめてもらっています。まず、副委員長から地域生活交通に関する意見聴取の方向性について簡単に説明していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○前田智永副委員長 まず、ホチキス止めのほうを御覧ください。1番です。これまで、令和2年度までは議会報告会という形で実施していたものを、令和3年度から市民と語る会という形に変えて実施してまいりましたが、令和3年度から令和7年度までの間の意見の中で地域交通に係るものを抽出いたしました。まずAIで抽出した後に、3か月くらいかけて全てすり合わせをして、足したり減らしたり、私のほうでいろいろと調整させていただきました。これは今皆様にお示ししたため、今全てを読むことは不可能だと思いますので、後ほど御覧ください。2番ですが、テーマ設定や意見・要望に多く出たものを重点的に抽出しました。大体5つに絞られるのかなと感じましたので、そのように特筆しています。1つ目が、救急搬送後の帰宅手段の欠如です。当時は夜間タクシーがなくなったということで、今は庄原地域では金曜日と土曜日にタクシー事業者が運行をされていますが、庄原地域以外にはないという実態もまだありますので、こういった状況なのかをまず調査する必要があるのかなと。それから、2つ目が、既存交通、市民タクシー等の使い勝手の悪さと条件緩和の要望です。あえて市民タクシーと書いていますが、これは抽出したものの中で意見があったので書いています。今は、市民タクシーには2名以上ではないと乗車ができないとか、バス停から1キロ以上ではないという

要件がありまして、これまで一般質問もありましたが、本当に使いやすくするためにはどうすればいいのかという聞き取り調査等を今からできればいいのかなと思います。3つ目が、車両の有効活用です。空いた車両があるではないかという意見も非常に多くありましたので、スクールバスであったり、地域で使われている市が委託しているものなどにどのくらい開きがあるのか、それが使えるのか、どうすればいいのかということが調査できればいいのかなと思います。4つ目が、学生の通学や休日部活動における移動手段の確保です。平日の意見もあったのですが、特に多かったのが休日、土日の部活動であるとか、長期の休み、夏休みなどの部活の送迎を保護者がしているのをどう思うのかという結構強めの御意見もありました。今までに聞いてきた中で改善されているものももちろんあります。東城の一部の地域ではMa a Sで対応するようにしたという話も聞いています。そういったものが今どうなっているのかということも含めて調査できればいいのかなと思います。5つ目が、貨客混載の推進と新交通、ライドシェア等への期待です。今は公共交通では人しか運べないということで、物を運ぶにはどうすればいいのかという意見もありました。それから、商工会議所等でMa a S、公共ライドシェア「よるくる」の実証実験などをされています。そういったところも今後どうしていくのかということも含めて、市ではなかなか調査がしきれない部分もあると思いますので、議会ならではの活動ができればいいのかなと思います。3番に調査事項の提案ということで、政策案1、2、3、4と堅苦しく書いていますが、結局は2番のところをまとめて、このように進めたらいいのではないかとということで提案させていただきました。

○谷口隆明委員長 ただいま、地域の自治振興区等を対象にした調査の内容について、まとめたものを説明していただきました。皆さん、今これを見てすぐではありますが、感じられたことや御意見等を出していただければと思います。全部は時間がかかると思いますので、2番と3番の具体的提案について御意見を頂ければと思います。

○松本みのり委員 長年にわたって出てきた意見を本当に分かりやすくまとめていただいて、御尽力ありがとうございます。付け足しはないので、ここからどのように進めていくのかという話に移っていったらと思います。

○堀内富夫委員 同じく、すばらしくよくまとめてくださっているので何も付け足すことはありません。貨客混載はすごくいいなと思いますが、八幡と高野で荷物を運んでほしいという要望があったということですか。

○前田智永副委員長 これは、抽出した意見の中に八幡、高野とありました。このまとめ自体も、それぞれの班で市民と語る会を回られた後の最後の報告書に出ていたものを全て網羅したまとめなので、あえてここに八幡、高野と書いているのは、人だけではなく物も運んでほしいという意見が出たということで書いています。個人的にはほかの地域でも伺っています。以前、比和でも貨客混載の取組の実証実験をされましたが、結局それはかなわなかったということも聞いているので、そういったことが全庁的にできればいいのかなと思っています。

○桜田亮太委員 私としては、地域交通というのはタクシーであり、バスであり、そういうところを具体的に研究していきたいという思いがあります。今までの委員会では芸備線の話もしてこられた経緯があるかと思いますが、今後この委員会でもそれも含めて考えるのどうかは検討課題としてあるのかなと思います。

○谷口隆明委員長 第2回でしたか、検討の方向性ということでお示ししましたが、その中で芸備線の

問題については、今、再構築協議会でいろいろと実証実験等をされて、議員全員協議会等でも逐次報告を受けていますので、今回はこの委員会では芸備線については特に調査はせずに、市内のどこに住んでいても安心して暮らせる交通体系というテーマを中心に進めようと最初に提起させていただいたので、その方向で。今、タブレットで前の資料が見られないので今までの議論の経過が分かりにくい点もあると思いますが、そういう経過なので、もちろんいろいろな意見を出して議論をすることはいいのですが、まとめの中には入ってこないと思います。

○前田智永副委員長 先ほどの補足ではありませんが、以前皆さんに、こういった方向性でということの説明させていただきましたが、教育民生常任委員会とこの特別委員会でのすみ分けについても説明させていただいて、教育民生常任委員会とする部分、この特別委員会とする部分、そして議員全員協議会とする部分についても皆様にお示ししたと思います。今は資料が見られませんが、また改めてタブレットの新しいアプリで見られる状況になると思います。それから、以前、議員も乗ろうではないかという御意見もいただいたと思うので、ここには記載はありませんが、それも同時進行で進めていければいいのではないかと思います。

○谷口隆明委員長 他にありませんか。特にないようでしたら、今後、具体的にどのように調査を行うかについて協議に入ってよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○谷口隆明委員長 それでは、調査事項についての提案はこの内容で進めます。あとは、自治振興区に対する調査の方法について、6名いますので、例えば、3班くらいに分かれて担当を決めてしないとたくさんあるので難しいと思います。そうした班編成を行って調査するという方向でどうでしょうか。皆さん異議がないようなので、2名ずつの3班でよろしいでしょうか。

○前田智永副委員長 3名ずつの2班という案もあるのかなと思います。2名で回るとなかなか厳しいのかなと思うので、3名ずつの2班か2名ずつの3班のどちらかになるのかなと思います。この特別委員会は議長指名で委員を決めましたが、ある程度地域別に委員を指名されていると認識していますので、そういったことも加味しながら班編成ができればいいのかなと思います。

○谷口隆明委員長 3名ずつの2班か2名ずつの3班だとどちらがいいでしょうか。

○松本みのり委員 自治振興区を回ると22か所なので、2班で11か所回ってそれぞれの情報をまとめていくのはかなり大変な作業になると思います。3人いるから分担するのか、2名ずつの3班を作って7、8か所ずつしていくのか。

○前田智永副委員長 自治振興区についても、これからお話しする地域ケア会議についても、回らせていただくという話は前回皆さんにもお示ししていると思いますが、全てを回る必要はないと思っています。といいますのが、市の地域交通課では前年から現時点までに全ての自治振興区を回られて、意見をある程度抽出されています。そこと同じ動きをしても意味がないと思いますので、例えば、抽出した市民と語る会の意見の中で出てきた地域に、どうでしょうか、行きましようか、来なくてもよいでしょうかといった話をしながら、御要望のあるところだけでもいいのかなと私は思っています。

○谷口隆明委員長 今、副委員長から、担当課が全て回って調査しているので、いろいろと困難や課題がたくさん出ている自治振興区に絞って希望を聞いていったらどうかという話がありました。私もそのほうが物事がスムーズに進むのではないかと思います、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○谷口隆明委員長 それでは、調査する自治振興区については別途検討することといたしまして、班編成は3名ずつの2班でどうでしょうか。よろしいですか。それでは、班編成は3名ずつの2班で、要望を聞いて、話をしようという自治振興区に行くということで進めていきたいと思います。希望等については、委員長・副委員長で自治振興区に希望を聞いて、その結果を皆さんにお知らせしてそこを分担していくようにしたらいいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

○前田智永副委員長 これは私の個人的な思いですけれども、今、委員長から班編成は3名ずつの2班で決定という話がありましたが、班編成をした後に、それぞれの自治振興区にお伺いするといいますが、市民と語る会もそれぞれの班で責任を持って、いつ行きましょうか、話をしませんかということも含めて協議が進められたらいいのかなと思っています。どこを選定するのかというところから始めないと、委員長・副委員長に一任いただいてもいいのですが、ここにも行ったほうがいいのではないかなということがあってはいけないと思います。例えば、先ほどの2番のテーマ設定や意見・要望に多く出たものの中で、1つ目のところには八銚、敷信、庄原、峰田、総領、西城、2つ目のところには4地域、3つ目のところには4地域、5つ目のところには2地域が出ています。商工会議所については、前回の特別委員会でお話を聞かせていただきましたし、今後「よるくる」の発表等もあるのでそちらもどうですかという話も伺っているので、そちらはそういった方法でお話を聞かせていただければいいのかなと思います。あえて自治振興区のことは今決定しておいて、班編成も行ってそれぞれの班で協議してもらったらどうかと思いますが、いかがでしょうか。

○谷口隆明委員長 今の案がスムーズにいきそうなので、それがいいかと思います。少し休憩してダブリを整理します。

午前11時23分 休 憩

午前11時33分 再 開

○谷口隆明委員長 地域生活交通に係る調査特別委員会の地域ケア会議説明資料が皆さんの御手元にあると思いますが、これについて副委員長から説明していただきます。

○前田智永副委員長 資料を御覧ください。これも前段で高齢者福祉課長と少しお話をさせてもらいながら、どのように進めれば我々の意向をお伝えできて、なおかつ福祉視点で。地域ケア会議はそれぞれの圏域にある会議で、ある意味個人が特定された状態で聞き取りができるのかなと思いますので、こういう困っている人がこの地域にいるという話まで聞けたらいいなということで課長にも相談して一定の御賛同を頂いて、そういうことであれば地域ケア会議でスムーズに進められるように、まず保健師の方にお話をさせてもらってもいいですかとのことだったのでこのような資料をつくらせてもらいました。地域ケア会議に出向く前にといいますか、しますか、しませんかという話の前に保健師の方に説明するための資料です。1番、調査の背景と目的を見てください。これまでの特別委員会でも、前回もお話をさせてもらったかと思います。下から3行目の専門職の皆様、特にケアマネジャー、民生委員、ソーシャルワーカー等、様々な立場の方がおられますので、その場でいろいろと御意見をお伺いできたらいいかなと思っています。2番です。主要テーマとしまして、まず、①救急搬送後の帰宅困難に関する実態については先ほどの資料と同じです。実際に帰宅できなくて困ったとか、例えば、

市内に住んでいる家族の方に迎えに来てもらったとか、隣家の方に電話をして来てもらったといった実態がお伺いできたらいいなという目的で書いています。西城地域では地域ボランティアの方が自主的に西城病院からの帰りの送迎を行う活動もされていますので、そういったこともお伺いできたらいいなと思います。②通院・買い物と既存交通の課題ですが、市民の声としては、先ほどもありましたように、2名以上の乗り合わせやバス停から1キロ以上の規定があつてなかなか使えないという声が多い中で、実際にどのような声を伺っているのか、どこにそういう人がいるのか、その距離はどのくらいなのかといった具体的なところまで掘り下げてお伺いできたらいいなという思いで書いています。③福祉車両の有効活用ですが、これは一般質問でも出ていますし、教育民生常任委員会でもこれまでいろいろと御意見が出ている部分です。福祉車両をどのように活用していくのか。市で配置されたものもありますし、高齢者福祉施設やデイホームで使っているものとか、例えば、保育所や学校のスクールバス等で使っている車両が使えるのに使われていないという御意見があった中で、どこまでできるのか、どのようなことが壁になっているのかといった実態調査ができればいいなと思っています。3番です。地域ケア会議にお諮りする前段で、これから高齢者福祉課を通じて保健師の方をお願いしてまいります。今月中に保健師の方にお話をし、地域ケア会議でも協議してもらって、6月頃から8月までで開催される会議があれば、もちろん定例会は除きますが、そこにお伺いしてもいいですかと。わざわざ開催してもらうのではなく、何月何日に会議をされるという情報を頂いて、そこに行かせてもらえませんかという進め方でできたらいいのかなと思っています。4番です。活用先ということで、保健師の方には、ここには仮称で書いていますが、先ほどの提案事項の中で、例えば、帰りの便をどうするのかとか、ライドシェアをどうするのかといった具体的な政策立案ができればいいなという思いで、活用させていただきたいというお願いを添えてお渡ししたいと思っています。御意見をお願いします。

○谷口隆明委員長 夏にこの地域ケア会議に参加するということになると、対象地域が10か所余りになると思います。先ほど協議していた自治振興区とでかなりの数になりますので、その辺については了解していただきたいと思います。地域ケア会議について説明していただいたのでイメージはお分かりいただけたかと思います。まず、自治振興区の班割りと行き先を決定したいと思いますが、よろしいでしょうか。

○堀井慎一郎委員 地域ケア会議は17か所、単位的には旧町単位になるのですか。

○谷口隆明委員長 庄原が2か所、西城が3か所、東城が5か所、口和が1か所、高野が1か所、比和が2か所、総領が3か所ですが、ちょうどこの期間にはないものもありますし、随時開催もあります。全部で17か所ですが、いつ開かれる分からないところもありますので、もう少し減ると思います。

○堀井慎一郎委員 地域ケア会議でもっと実態に即した、もう少し深い話が聞けるだろうということで、地域ケア会議で聞き取りをさせていただきたい主要テーマ①、②、③については、自治振興区でもテーマ設定されている救急搬送後の帰宅手段、市民タクシーの使い勝手、車両の有効活用はテーマがダブる部分があると思いますので、その辺は地域ケア会議にウエートを置いていただいて、自治振興区からの聞き取りのウエートを軽くしていただくことも方法としては。ですので、救急搬送でいえば、6つの自治振興区から出てきていますが、その中で全部ではなく抽出して、地域ケア会議でももう少し詳しいことを聞くことができると思います。その辺りもバランスを考えていくことが可能かなと思います。

○谷口隆明委員長 それでは、暫時休憩させていただき、対象を絞っていきたいという意見がありましたので、そのことも含めて少し協議させていただきます。

午前11時42分 休 憩

午後0時9分 再 開

○谷口隆明委員長 協議の結果、最初に考えていたとおりではなく、地域ケア会議に重点をとることなので、次回の委員会は今後どのように進めるのか具体的な案を提案できるように準備してから開会させていただきたいと思います。今日このまま会議を続けてもなかなか結論が出そうにないので、本日の委員会はこの程度にとどめて次回で決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○前田智永副委員長 地域ケア会議については、休憩間にも皆さんからいろいろな御意見を頂きました。重複している参加団体等もあるので、委員長・副委員長でどのように進めるかをお諮りさせていただければと思います。その中で、この団体から要望がありましたというところまで皆さんにお示した上で班分け等ができればいいのかなと思いますので、御了承いただければと思います。

○谷口隆明委員長 それでは、日程等をこれからいろいろと協議して、具体的にどこに行くのかということも明確にしたいと思います。それが決まり次第、皆さんに日程をお知らせしたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○谷口隆明委員長 それでは、以上で委員会を終わります。

午後0時11分 散 会

庄原市議会委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

地域生活交通に係る調査特別委員会

委員長